

議会のあり方調査特別委員会 記録

開会年月日	平成30年2月26日
開会時刻	午後2時18分
閉会時刻	午後2時35分
出席委員名	宮崎 誠 久保 真 中村 功 井村貴志 上村和生
	北村 勝 楠木宏彦 鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子
	世古 明 野口佳子 岡田善行 福井輝夫 辻 孝記
	吉岡勝裕 品川幸久 藤原清史 黒木騎代春 小山 敏
	浜口和久 山本正一 宿 典泰 世古口新吾 中山裕司
	西山則夫議長
欠席委員名	なし
署名者	宮崎 誠 久保 真
担当書記	野中久司
協議案件	各分科会のこれまでの協議の経過について
	予算審査について
説明者	

開会 午後 2 時18分

◎中山裕司委員長

ただいまから、議会のあり方調査特別委員会を開会いたします。本日の出席者は、全員でありますので会議は成立いたしております。

本日、御協議いただきます案件につきましては、1月16日、及び2月15日に企画調整部会を開催し、確認した内容でございます。

お手元の事項書のとおり、「各分科会のこれまでの協議の経過について」、「予算審査について」の2件について、御協議を願います。

### 【各分科会のこれまでの協議の経過について】

◎中山裕司委員長

それでは、会議に入ります。

本日の会議録署名者に委員長において、宮崎委員、久保委員の御両名を指名いたします。

最初に、「各分科会のこれまでの協議の経過について」を議題といたします。

各分科会の具体的検討項目について、確認された事項については、資料1のとおりであります。

各分科会から、報告をお願いいたします。

はじめに、条例等検討分科会、鈴木会長から報告を願います。

鈴木会長。

○鈴木豊司条例等検討分科会会長

それでは、条例等検討分科会の「これまでの協議の経過」につきまして、御報告申し上げます。

私ども、条例等検討分科会の具体的検討項目につきましては、前期最後の分科会におきまして、残されました検討項目ということで確認をしております。資料1に記載のとおり、仮称でございますが、議会の議決すべき事件に関する条例の制定、政策立案について、事務局体制の強化・充実、予算・決算審査のあり方、議長任期、管外行政視察の抜本的な見直しの6項目でございましたが、新たに、伊勢市議会議員政治倫理条例第3条第4号の「市から補助金等の交付を受けている団体を代表する役員に就任しないこと」との規定に関しまして、その団体、及び役員についての解釈を明確にする必要が生じたことから、追加しての調査・検討を確認いたしました。したがって、7項目ということになったものでございます。なお、予算・決算審査のあり方につきましては、最優先項目として、協議を行い、条例等検討分科会としての方向性を確認してございまして、次の議題であります「予算審査について」の中で、御報告申し上げることといたしております。

また、2月5日の分科会では、議員政治倫理条例に規定します補助金等を受ける団体・役員の解釈について、及び議会の議決すべき事件に関する条例についての協議を始めたところでございます。

以上、条例等検討分科会からの「これまでの協議の経過について」の報告といたします。

◎中山裕司委員長

どうも、ありがとうございます。

ただいま、鈴木会長から、「これまでの協議の経過について」、報告をしていただきました。

このことにつきまして、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、条例等検討分科会、鈴木会長からの報告にありました、「これまでの協議の経過について」は、この程度で終わりたいと思います。

次に、広聴検討分科会、宿会長から報告を願います。

宿会長。

○宿 典泰広聴検討分科会会長

それでは、広聴検討分科会の「これまでの協議の経過について」、御報告申し上げます。

私ども、広聴検討分科会のこれまでの具体的な調査・検討項目は、議会アンケート、議会報告会・意見交換会、広聴機能のあり方・仕組みづくり、及びその他広聴に関することであり、2月13日の本分科会の中でも、これらの項目につきまして、継続して調査・検討をしていくことが、改めて確認をされました。

まず、議会アンケートにつきましては、以前にも御報告いたしましたけども、平成28年の年末に実施をいたしました、市民の市議会に関する調査結果報告書を作成しましたが、広聴活動の一つの方法として考えており、インターネットを活用するなど、新たなアンケート手法の検討も必要ではないかということでもあります。

次に、議会報告会・意見交換会ではありますが、議会報告会につきましては、実施の是非も含めて、開催方法などを協議する必要があると考えておりますが、意見交換会として、昨年は皇學館大学の学生と意見交換のイベントを行いました。また、総連合自治会役員とは、グループディスカッション方式での、市が抱えるいくつかの課題についても、意見交換会を実施しました。

今回の皇學館大学との意見交換会は、学生側主体で実施され、学生と市議会の距離を近づけるきっかけづくりとなりましたけれども、今後、より充実した広聴活動となるよう、今月23日に本分科会委員で大学へ出向き、昨年のふりかえりも行いながら、議員と学生が共同で意見交換のテーマや手法を検討してまいりました。

年度末ということで、新年度になれば学生側のメンバーも変更することから、4月以降で意見交換会等、広聴活動の実施について話が詰められましたら、追って全議員の皆様へ、御案内させていただきたいと考えております。

今後につきましては、議会活動として市政へ反映できるよう、他の分科会とも連携を図りながら、広聴機能のあり方・仕組みづくりに向けた協議を行ってまいりたいと思っております。

以上、広聴検討分科会から「これまでの協議の経過について」、御報告いたしました。

◎中山裕司委員長

どうも、ありがとうございます。

ただいま、宿会長から、「これまでの協議の経過について」、報告をしていただきましたが、

このことについて、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、広聴検討分科会、宿会長から報告のありました、

「これまでの協議の経過について」は、この程度で終わっておきたいと思います。

次に、広報検討分科会、浜口会長から報告を願います。

浜口会長。

○浜口和久広報検討分科会会長

それでは、広報検討分科会の「これまでの協議の経過について」、御報告を申し上げます。

私ども、広報検討分科会のこれまでの具体的な調査・検討項目は、市議会だより、ホームページ、議会のライブ中継、議会のICT化、その他広報に関することであり、1月17日の本分科会の中でも、これらの項目について、継続して調査・検討をしていくことが、改めて確認されました。

まず、市議会だよりにつきましては、先日2月15日号を発行したところであり、今回から、議案質疑及び一般質問の記事に、各議員の顔写真を掲載いたしました。

次に、ホームページにつきましては、掲載内容の精査を事務局と図っていくこととなっております。

次に、議会のライブ中継については、実施の是非も含め、協議の必要があり、庁舎改修に伴う議場及び委員会室の改修に合わせて、インターネット配信への環境整備を図ってまいります。

次に、議会のICT化につきましては、ペーパーレス化という観点から、電子メールの活用やタブレット運用等について、当局側とも調整を図りながら、今後協議を継続したいと思っております。

今後につきましては、引き続き、これらの事項を本分科会での協議項目として、他の分科会とも連携を図りながら、協議を重ねていきたいと思っております。

以上、広報検討分科会から「これまでの協議の経過について」、御報告いたします。

◎中山裕司委員長

ただいま、浜口会長から、「これまでの協議の経過について」、報告をしていただきましたが、この件につきまして、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、広報検討分科会、浜口会長から報告のありました、「これまでの協議の経過について」は、この程度で終わっておきたいと思っております。

## 【予算審査について】

### ◎中山裕司委員長

次に、「予算審査について」を議題といたします。  
条例等検討分科会、鈴木会長から報告を願います。  
鈴木会長。

### ○鈴木豊司条例等検討分科会会長

それでは、御報告を申し上げます。

予算決算審査のあり方につきましては、1月26日と2月5日の両日の条例等分科会におきまして、委員、及び会派としての御意見を賜り、条例等検討分科会の方向性として、採決をもって確認をしたところでございます。

条例等検討分科会での意見を総括しますと、反対、あるいは、審査状況に疑問を感じるという意見もございましたが、3月定例会の平成30年度予算の審査につきましては、分科会方式で審査するという考え方が大勢を占めており、その方向での結論となっております。

また、分科会方式の継続には、改革が必要という意見もございました。

三重県下での議会の予算・決算の状況でございますが、津市の決算特別委員会のみ9名の委員での審査となっておりますが、それ以外は全て、予算決算特別委員会での分科会方式や、全議員での審査、あるいは予算・決算常任委員会の設置、あるいは、所管常任委員会への審査付託と、スタイルは異なりますものの、全議員が関わることのできる仕組みを取り入れている状況にございました。

そして、全員参加と言いながら、その全員参加に疑問を抱いたり、発言の機会の拡大を訴える意見もございましたが、これは、審査に望みます姿勢の問題、意識改革が必要ではないかというふうに考える次第でございます。

すなわち、予算審査に当たりましては、平成28年度の決算審査から導入しました分科会方式におけます全員参加と専門的・効果的な審査の現実味が増しますよう、各会派での御努力、対応をよろしくお願い申し上げたいと存じます。

何とぞ、議員の皆さんにおかれましても御理解を賜りたいと存じます。

以上のような、様々な状況を踏まえ、条例等検討分科会といたしましては、平成30年3月の予算審査につきましては、前年と同様に、「伊勢市議会予算特別委員会運営要綱」に基づき、分科会方式での予算審査を提案させて頂くものでございます。

何とぞ、よろしく御決定下さいますよう、お願いを申し上げます。

### ◎中山裕司委員長

どうもありがとうございました。

ただいま、鈴木会長から予算審査について、御報告していただきました。

この件につきまして、御協議願いたいと思いますが、御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、お諮りをいたしたいと思っております。

予算審査につきましては、条例等検討分科会、鈴木会長からの説明のとおり、3月議会

の予算審査については、予算特別委員会を設置し、各常任委員会単位で分科会を設けることについて、賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎中山裕司委員長

どうもありがとうございます。

起立多数と認めます。

よって、「予算審査について」は、条例等検討分科会、鈴木会長からの説明のとおり、決定をいたしました。

本日、御協議願う案件は終わりました。

これをもちまして、議会のあり方調査特別委員会を閉会いたしたいと思えます。

どうも御苦労さんでございました。

閉会 午後 2 時35分

上記署名する。

平成30年 2 月26日

委 員 長

委 員

委 員